

看護師の皆さんが安心して派遣で働くために

『産業（企業）看護師とは』

2025年 8月20日

日本派遣看護師協会

目次

- 1 産業（企業）看護師とは
- 2 産業（企業）看護師の主な仕事
- 3 産業（企業）看護師になるためには
- 4 産業（企業）看護師のメリット・デメリット
- 5 まとめ

1. 産業（企業）看護師とは

産業（企業）看護師は、企業で活躍する看護師のことで、企業内の診療所や医務室などに勤務し、企業で働く従業員が体調不良になったり、怪我をしたりしたときにサポートします。最近では、従業員の健康管理やメンタルヘルスケアの業務に関わることも少なくありません。

一言で、産業（企業）看護師といっても、病院やクリニックなどの医療機関に勤め、治験コーディネーター業務を行ったり、製薬会社等に勤め、臨床開発モニター業務を行ったりすることも含まれますが、ここでは、一般企業で働き、従業員の健康管理を主に行う産業（企業）看護師の仕事、メリット・デメリットをお伝えします。

従業員の健康を意識した経営をする企業は、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから高い社会的評価を受けるようになってきており、産業（企業）看護師のニーズも、年々高まっております。

経済産業省が毎年発表する『健康経営企業優良法人2025』によると、大規模法人部門は、3,400法人、中小規模法人部門は、19,796法人が認定を受けています。

参照：日本健康会議 <https://2025.kenkokaigi.jp/news/n040>

- *「健康経営」とは、従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことで、組織の活性化や生産性の向上、企業価値の向上などの効果が期待されます。

2. 産業（企業）看護師の主な仕事

産業（企業）看護師の主な仕事は、従業員の健康管理、健康相談、健康診断の実施と事後フォロー、保健指導、急病人や怪我人の応急処置、産業医との連携などがあります。また、最近では、メンタルヘルスケアや感染症対策、職場環境の改善など多岐にわたっています。

- 従業員の健康管理・健康相談
- 従業員の健康診断の実施と事後フォロー
- 急病人や怪我人の応急処置
- 感染症対策や指導
- メンタルヘルスケア
- 職場環境改善や保健事業の年間計画作成
など

3. 産業（企業）看護師になるためには

産業（企業）看護師として働くうえで、看護師資格以外に必ず必要なものではありません。ただし、従業員の体調不良やケガ等に対応しないといけないため、臨床経験はあった方が良いでしょう。

必ず必要ではないものの、保健師の資格もあった方が良いでしょう。保健師は、国家資格で、厚生労働省の免許を受けて、保健指導に従事する職業。専門知識をもとに保健指導や健康相談を行い、健康的な生活をサポートする仕事です。保健師になるためには、看護師資格が必要となります。現役の看護師が保健師を目指す場合には、保健師課程がある教育機関への入学が必要となりますが、最短1年で目指すことが可能です。

参照：厚生労働省「保健師国家試験の施行」

https://www.mhlw.go.jp/kouseiroudoushou/shikaku_shiken/hokenshi/

＜産業（企業）看護師に必要な能力・スキル＞

- 幅広い医療知識
- コミュニケーションスキル
- 一般的なPCスキル
- 外国語

＜持っているより良い資格＞

- 保健師
- 衛生管理者
- メンタルヘルス・マネジメント検定

4. 産業（企業）看護師のメリット・デメリット

<産業（企業）看護師として働く主なメリット>

- 勤務時間が安定している。

病院勤務の場合、休みが不規則になりがちで、夜勤等もある場合がありますが、産業（企業）看護師の場合、土休日が休みになるケースが多く、安定しています。

- 体力仕事が少ない。

体力仕事よりも事務作業が多くなるため、体力的に余裕が生まれます。

- 勤める企業の業態等により、給料が高いケースがある。

<産業（企業）看護師として働く主なデメリット>

- 幅広い知識が必要となる。

看護以外のスキルや能力を必要とされるケースが多く、幅広い知識やスキルを習得する必要がある。

- 医療現場から離れることになる。

職場環境にもよるが、病院等と違い、現場で必要とされる能力やスキルが低下する恐れがある。

- 採用枠が限定されている。

正職員、派遣社員ともに人気が高いことから、募集枠があっても、すぐ埋まってしまうことが多い。

5. まとめ

産業(企業)看護師の仕事内容やメリット・デメリットを簡単にまとめました。
日本派遣看護師協会の会員の皆様にも関心を持っている方も多いと思います。

デメリットで紹介した「幅広い知識が必要となる」ということですが、新しいことに
チャレンジしたい人にとっては、逆にメリットと感じられると思います。

冒頭でも触れさせて頂きましたが、健康経営に注力している企業は年々増えていて
産業(企業)看護師のニーズは、今後ますます高まっていくことが予想されます。

興味のある方は、早めに準備しておくのも良いかもしれません。